

2021年4月14日夕刊

記事を読んで、問いに答えなさい。  
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

①静岡市葵区足久保地区が、静岡茶の発祥の地と考えられているのは、なぜか。記事を参考にしながら説明しなさい。

## 足久保茶オーナー

## 県内外から人気

### 静岡葵区 聖一国師ゆかりの地

静岡茶の発祥の地を次世代に。鎌倉時代の高僧、聖一国師が茶の栽培を始めたと言われる静岡市葵区足久保地区で、茶生産者組織の足久保ティーワークス（吉本邦弘組合長が3月に始めた「茶畑オーナー制度」）が人気だ。組合員は「静岡茶のファンを増やし、産地を守っていききたい」と意気込む。

市民が一口年間1万8千円の会費を払って茶畑のオーナーになることで、茶園の維持管理費を支援する制度。会費は季節ごとにお茶を受け取るほか、茶摘み体験や茶の飲み比べなどのイベントに参加できる。「山間部のお茶の魅力を感じて、茶摘み体験などで体を使ってほしい」と吉本組合長（69）は制度の狙いをそう説明する。

3月の募集開始後、SNSで反響があり、関東や広島など県外を含めた応募が相次いだ。目標とした30人の4倍超に当たる約130人がオーナーになった。茶摘みを取り入れた研修を検討する企業もあるという。

オーナーの一人、野崎涼子さん（27）は同市葵区IIの祖父は足久保の茶農家だった。高

②記事中にある「茶畑オーナー制度」とはどのような制度か。記事を参考にしながら、次の語句を必ず使って説明しなさい。  
＜維持管理費、茶摘み体験＞

## 体験型でファン拡大へ

茶園を前に語り合う吉本邦弘組合長（左）と野崎涼子さん＝12日、静岡市葵区



齢により茶畑を手放したという。自身も茶業とは別の道に進んだ野崎さんは「故郷の特産品であるお茶に関わりたい」と感じて応募した。「生産者とふれ合う機会があり、お茶の良さを改めて実感できた」と話す。

農林水産省が公表した2019年の茶産出額で静岡県は1970年から守ってきた1位の座から陥落するなど、静岡茶の生産現場は苦境に直面

している。ティーワークスも最盛期に約60戸の農家が所属していたが、高齢化や収益悪化などで現在は約35戸に減少するなど、人手が減少している。

「オーナー制度は新しい若いファンを増やすことにもつながる」と吉本組合長。「800年の歴史がある足久保茶。ブランド化を進めて伝統を守りたい」と言葉に力を込める。（経済部・平野慧）

③現在 静岡茶を取り巻く状況には、農家の高齢化や収益悪化などで人手が不足している問題がある。それ以外にどのような問題があるか。記事を参考にしながら、次の語句を必ず使って説明しなさい。

＜茶産出額、鹿児島県＞

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(中学校～高校/社会、総合)



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



2021年4月14日夕刊

記事を読んで、問いに答えなさい。  
解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

## 解答例

①静岡市葵区足久保地区が、静岡茶の発祥の地と考えられているのは、なぜか。記事を参考にしながら説明しなさい。

(例)鎌倉時代の高僧である聖一国師が、茶の栽培を始めた地と考えられているため。

②記事中にある「茶畑オーナー制度」とはどのような制度か。記事を参考にしながら、次の語句を必ず使って説明しなさい。

<維持管理費、茶摘み体験>

(例)市民が一口年間1万8千円の会費を払って茶畑のオーナーになることで、茶園の維持管理費を支援し、会員はお茶を受け取ったり茶摘み体験などができる制度。

### 静岡葵区 聖一国師ゆかりの地

静岡茶の発祥の地を次世代に。鎌倉時代の高僧、聖一国師が茶の栽培を始めたことされる静岡市葵区足久保地区で、茶生産者組織の足久保ティーワークス（吉本邦弘組合長が3月に始めた「茶畑オーナー制度」）が人気だ。組合員は「静岡茶のファンを増やし、産地を守っていききたい」と意気込む。

## 足久保茶オーナー

## 県内外から人気

市民が一口年間1万8千円の会費を払って茶畑のオーナーになることで、茶園の維持管理費を支援する制度。会員は季節ごとにお茶を受け取るほか、茶摘み体験や茶の飲み比べなどのイベントに参加できる。「山間部のお茶の魅力を感じて、茶摘み体験などで体を使って感じてほしい」。吉本組合長（99）は制度の狙いをそう説明する。

3月の募集開始後、SNSで反響があり、関東や広島など県外を含めた応募が相次いだ。目標とした30人の4倍超に当たる約130人がオーナーになった。茶摘みを取り入れた研修を検討する企業もあるという。

茶園を前に語り合う吉本邦弘組合長（左）と野崎涼子さん＝12日、静岡市葵区



## 体験型でファン拡大へ

③現在 静岡茶を取り巻く状況には、農家の高齢化や収益悪化などで人手が不足している問題がある。それ以外にどのような問題があるか。記事を参考にしながら、次の語句を必ず使って説明しなさい。

<茶産出額、鹿児島県>

(例)農林水産省が公表した2019年の茶産出額で鹿児島県が1位になり、1970年から守ってきた1位の座から静岡県が陥落するなど、静岡茶のブランドを再び高める必要がでてきたこと。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(中学校～高校/社会、総合)